



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。

IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「[デュー・プロセス・ハンドブック](#)」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

ISSB は、[2025年12月10日](#)に会議を行った。

## 関連情報：

- 原文は[こちら](#)
- ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

## 目次

### リサーチ及び基準設定

- [生物多様性、生態系及び生態系サービス（アジェンダ・ペーパー3）](#)
- [人的資本（アジェンダ・ペーパー4）](#)

## リサーチ及び基準設定

### 生物多様性、生態系及び生態系サービス（アジェンダ・ペーパー3）

ISSB は、2025年12月10日に会議を行い、次の事項について議論した。

- ISSB の作業計画においてプロジェクトをリサーチ・プロジェクトから基準設定プロジェクトに移行するために要求されるデュー・プロセスのステップ
- プロジェクト固有の協議グループの必要性

ISSB は、ISSB の作業計画においてプロジェクトをリサーチ・プロジェクトから基準設定プロジェクトに移行することを決定した。

基準設定プロジェクトでは、自然関連のリスク及び機会に関する情報についての一般目的財務報告書の主要な利用者のニーズに対応するために、開示要求を開発する予定である。これらの要求事項は、IFRS S1 号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項」及び IFRS S2 号「気候関連開示」の要求事項を補足し、自然関連のリスク及び機会に適用される予定である。

12名のISSBメンバーのうち11名が、この決定に同意した。

ISSB はまた、ディスカッション・ペーパーの公表はせずに、次のデュー・プロセスのステップとして公開草案を公表することも決定した。

12名のISSBメンバーのうち11名が、この決定に同意した。

### 基準設定のための協議グループの必要性（アジェンダ・ペーパー3A）

また、ISSB は、プロジェクトのために新たな協議グループを創設する代わりに、既存の諮問機関、協議グループ及びリソースを利用することも決定した。

12名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。

### 次のステップ

ISSB は、公開草案を開発するために、プロジェクト計画及び作業範囲について議論を行う予定である。

## 人的資本（アジェンダ・ペーパー4）

ISSB は、2025 年 12 月 10 日に会議を行い、基準設定の必要性及び実行可能性に焦点を当てたプロジェクトの進捗状況について報告を受けた。

ISSB は何も決定を求められなかった。

### 次のステップ

ISSB は、プロジェクトの開発について議論を継続する予定である。